

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2021年7月30日）

■第1版 第1刷（2016年5月20日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章-1. 周術期の輸液管理					
14	下から2, 3行目	<p>·OUT=1,870 mL(術野蒸発分480mL+出血190mL+血管拡張分1,200 mL)</p> <p>バランスはプラス230 mLでほぼ過不足ないと推計される。</p>	<p>·OUT=2,320mL(維持量450mL+出血190mL+術野蒸発分480mL+血管拡張分1,200mL)</p> <p>バランスはマイナス220mLでほぼ過不足ないと推計される。</p>		16/06/08
第1章-2. 周術期の栄養管理：術前栄養療法					
21	下から2行目 (●ここがピットフォール内)	なお, ESEPNガイドライン ³⁾ は, 可能な限り入院前から…	なお, ESPENガイドライン ³⁾ は, 可能な限り入院前から…		21/07/30
25	上から5行目	食道癌手術患者を対象にして, 術前の栄養障害が…	食道癌手術患者を対象にして, 術前の栄養障害が…		21/07/30
第2章-10. DVTのリスク評価と予防, そのエビデンス					
164	表3内「予防策」	機械的予防法(表4参照) 化学的予防法(表4参照) 機械的予防法+ 化学的予防法(表4参照)	機械的予防法(表6参照) 化学的予防法(表6参照) 機械的予防法+ 化学的予防法(表6参照)	Low risk Moderate risk High risk の3行分	16/06/27
169	例題3 ■答え	BMI 27 > 25 kg/m ² で1点, 手術時間は50 分で2 点で修正Caprini リスクスコア3点. Low risk に分類されるため, 機械的予防法の適応となる. <u>術直後はベッド上でGCSとIPCを使用し, 早期離床をめざすこととした.</u>	年齢が45歳で1点, BMI 27>25 kg/m ² で1点, 手術時間は50分で2点で修正Capriniリスクスコアは4点, Moderate risk に分類されるため, 化学的予防法の適応となる. <u>低用量未分画ヘパリン1回5,000 IU 1日2回皮下注射を行うこととした.</u>		16/06/27